

## Town Topics

広報誌で紹介した写真またはデータを希望者に提供します。

お申し込み

情報課広報広聴係

TEL 23-3069

### ドカ雪に自衛隊も協力

(1月25日)



今年は、全国的に雪が多く町内でも例年にない大雪に町民が家の除雪に追われている状況が見られます。

1月24日現在で降雪量は、6m22cmを記録し、去年の同時期よりも2m以上も多く降っています。

この状況を見て、航空自衛隊当別分屯基地の隊員が困っている人を助け、地域へ貢献しようと訓練をかねて東町団地の除雪を3日間行いました。隊員たちは、スコップやママさんダンプを使って、団地の屋根まで覆い尽くしている雪を手際よく取り出していました。

住民の方は「今までこんな年は無かった。毎日の除雪で体調を崩していたので、自衛隊の方が来てくれて助かった」と感謝していました。

### 「出初式」で決意新たに

(1月7日)



当別消防出初式が総合体育館で行われ、当別消防署員や消防団員など約150人が参加しました。

同館駐車場で寒さの中、各分団が隊列を成し行進の後、館内で式が行われました。消防管理者の泉町長は「4月からは消防本部が石狩市に移転するが、当別消防署は変わらぬ体制で消防力の向上をめざす決意であり、住民の生命、財産を守るために一丸となって災害に対処していく所存」と式辞を述べました。

また、永年消防業務に従事された団員に北海道知事表彰などが贈られたほか、分団退団者や消防後援会退会者に感謝状が渡されました。

### 261人が成人に 「当別町成人式」

(1月8日)



「当別町成人式」が総合体育館で行われ、大人の仲間入りをした新成人261人（男性126人・女性135人）のうち、162人が出席しました。

式では町議会議員や行政推進員、各関係者が見守る中、新成人は整然と来賓や大澤教育委員長の話に耳を傾けました。

また、中学校時代の担任教諭から寄せられたメッセージが披露され懐かしく聞き入っていました。

成人の決意として新成人の代表2人が「大人として社会にどのように貢献し、自分にできることを考えて生活していかなければならない。また、それぞれの夢を実現させるため、積極的に自分を磨きたい」と述べました。

式の後には、久しぶりに会う友人と話を楽しんだり、写真撮影をするなど、笑顔があちらこちらでこぼれていたほか、成人式実行委員会が自分たちの手で思い出に残る成人式にしようと、立食パーティーやビンゴ大会を開催し、賑やかに過ごしていました。



## 町長の日記

18年1月17日 (火)

この冬は全国的に大雪で九州や沖縄まで雪が降っているが、東北地方の異常な雪害で死者は100人を越えたい。

当別では屋根の雪降ろし中に亡くなった方が出た。現在、町では2億1千万円の除雪費を使っている。これは1人当りにすると1万1千円となり近隣市町村で最高であり、この後大雪が来ても補正するのはちょっと難しい。

然し、今日現在、昨年より2m以上も降雪量が多いから、どこの家も毎朝大変な苦勞をしている。毎年、中学生のスポーツ部が部活の一環として独居老人家庭などの除雪ボランティアをしてくれているが、今年は当別の自衛隊も49名ボランティアで老人家庭の除雪をしてくださると遠目塚司令からお話があり、大変有難い。

我が家では、朝5時頃にタイヤショベルで除雪をしてもらって、8時頃妻がトラクターで仕上げをしているのだが、屋敷内の150本くらいの庭木で2m以下の木はほとんど雪に埋もれてしまったから、春には無残なものだろう。

正月休みに久し振りにトラクターで除雪を試みたら車庫や庭木に雪を飛ばしてしまった。妻が見かねて「私がやるから降りていいよ」と云うので、少し悔しかったが確かに今では妻の方が上手になった。

妻は時々500m程度離れた娘の家の除雪も手伝いに行っているが、吹雪の時もコートも着ず公用車で役場に通う私なんかよりも大型特殊免許を持っている農家のオバサンの方が娘に尊敬されている様だ。

毎朝、それぞれの家庭で主婦が真剣に雪かきをしている姿は、雪国の女性のたくましくも美しく、私も尊敬する。

当別町長 泉 幸彦

## 「裁判員制度」ってなんだろう？

(1月23日)



札幌地方裁判所が「裁判員制度」を理解してもらおうと、当別町と共催で出張講座を開き、46人の町民が参加しました。

裁判員制度は、国民が殺人事件などの刑事裁判に参加して、被告人が有罪か無罪かを裁判官と一緒に決める制度で、平成21年5月までにスタートします。

講座では、殺人未遂事件を6人の裁判員が裁判官と共に議論を重ね結論を出すまでをドラマ化したビデオ視聴と、×クイズを交えた解説がされました。

参加者からの「なぜこの制度を行うのか」「辞退はできるのか」など新しい制度への質問や疑問に同裁判所の川田判事が丁寧に答えていました。

## 上手に滑れるようになったよ

(1月7～9日)



小学校3年生を対象に、当別スキー連盟が3日間のスキー教室を石狩平原スキー場で行いました。

50人の参加者は、準備体操のあと、レベル別に分かれ、同連盟の指導者が丁寧に指導に当たりました。

毎日、雪が降りしきるなかでも子供たちは寒さに負けず、指導員の滑る後に付いてレッスンを重ね、尻もちを着いていた子も、弧を描いて滑ることができるようになりました。

最終日には、ジュニアスキー検定の2級から5級にそれぞれの実力に合わせて挑戦し、受検者全員が合格することが出来ました。